

## 人工筋肉搭載の腰サポーター

NKE 作業の負担軽減だけが防止に

腰サポーター「腰助くん」



産業機器メーカーのNKE(京都市、中村道一社長、☎075・924・0653)は、腰サポーター「腰助くん」を昨年販売し、主に工場の労働環境の改

善向けに納入先を広げている。人工筋肉を搭載した補助ベルトにより姿勢を真っすぐに保ち、作業負担を軽減することで、けがの防止につながるもの。腰部

にピンポイントで圧力がかかるため、腹部が苦しくならない点が特徴だ。

同製品に搭載した人工筋肉は、京都の組紐専門店の協力を得て自社開発した。手動ポンプで入れた空気力で収縮する仕組みだ。布の張力で固定するサポーターと比べ、圧力が腰部に集中し、腹部への圧迫が少ない。約340gと軽量で、腰のラインにフィットした形状のため、動作を妨げずに腰への負担を和らげる。装着したままアシスト機能のオン・オフと締め付けの調整が可能。サイズはM、L、LLの3種類で、

専用ケースが付属する。価格は1万9800円(税別)で、同社のオンラインサイトで販売している。

同社は40年以上にわたり、圧縮エアーを駆動源とする産業機器の製造を手掛けており、今回の製品開発にもそのノウハウが生かされている。今後は、アシストスーツの開発・販売も進めていくという。

担当者は、「働きやすい環境作りに苦心されている事業者に対し、同製品を通じて貢献していきたい。今後は一般消費者に向けた販売も強化していく」と話している。